

語学力不足が原因で、海外の大学を諦める必要はありません。

語学力が規定の基準に満たなくても、 海外の大学へ進学する方法

規定の基準を満たさなくても、海外の大学進学は可能です

海外の大学に進学を希望する場合、規定の基準を上回る語学力のスコアが必要となります。大学の授業に参加できる語学力があることを証明するためのもので、大学や学部ごとに基準が決められています。

学力は合格レベルでありながら語学力のスコアが不足している場合、入学申請を諦めなければならないかという点、必ずしもそうとは限りません。

「条件付き入学」「パスウェイ・プログラム」といった仕組みを利用して、海外の大学へ語学試験なしで入学する選択肢があります。

選択肢1 条件付き入学

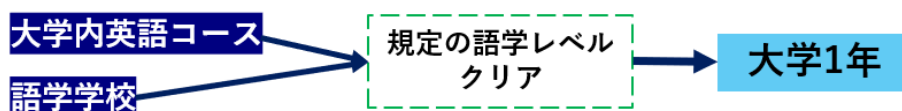
語学力以外は入学要件を満たしている申請者が「条件」付きで入学が許可される方法です。申請者は英語能力の証明書以外、必要とされるすべての申請書類を大学へ提出し、学力的に合格と認められる必要があります。条件付き入学を許可され、要件を満たす語学力を付けたことが証明できれば、大学へ入学することが可能になります。

入学先は、大学の ESL (=English as a Second Language、母国語が英語でない学生向け英語コース) または提携している語学学校になり、語学留学からスタートすることになります。語学力のスコア提出が必要な場合もありますが、指定のレベルを修了すると TOEFL® 等のスコアなしで大学進学ができる場合もあります。

また、アメリカの 2 年制大学などでは、ESL と学部授業を組み合わせる履修するブリッジプログラムもあります。

注意点として、全ての大学が条件付き入学を行っているわけではありません。入学申請をする前に、この制度があるかどうかを確認しておきましょう。

【条件付き入学のステップ】



選択肢2 パスウェイ・プログラム

パスウェイ・プログラムとは、語学を含めた一定のプログラムを履修するという条件の元で、大学留学をスタートさせる留学です。

大学の語学研修を受けながら、留学生だけの授業で基礎科目等を履修していくもので、スタディスキルと言われるディスカッションの方法やエッセイの書き方を学んだり、専門科目の基礎を学んだりします。現地学生との英語力の差を無理なく埋めながら、大学生活に慣れることが可能です。

プログラムを規定の成績以上で修了した後は、大学2年次または3年次から進学・編入できます。

時間とお金を節約して大学に入学することが可能なため、近年このパスウェイ・プログラムを希望する生徒が増えてきました。ただし、授業と平行して英語を学び、かつ指定の授業を一定の成績以上で修了しなければならないため、必要となる勉強量が増えることは覚悟しておきましょう。

パスウェイ・プログラムは、大学によりディプロマコース、ファウンデーションコース等の名称で運営されている場合もあります。また、全ての大学に採用されているシステムではないことにも注意しておきましょう。

【パスウェイ・プログラムの基本的なステップ】

